
今後の改善方策

(学校関係者評価を受けて)

1 情報提供

ホームページについては、各コンテンツの担当者を明確にし、内容の充実を図っていく。

学校便りについては、町内会長さん方の協力を得て、校区内全域に回覧をしていき情報提供の充実を図る。

2 小・中の連携協力

本年度、担当者レベルの連携会議を4回行った。その内2回は現在中学1年生の学校生活について、2回は来年度の入学に向けて、それぞれ協議を行っている。特に、前項については、それを受けて小学校での指導改善に生かしていく。

本年度、算数と図画工作において、第二中学校の先生の協力を得て、担任とTTで授業を行った。いわゆる中1プロブレムの課題に対応した取組である。今後も充実を図っていく。

3 安全確保

年度末に登校マナーアップ作戦を展開し、児童の意識の高揚を図った。今後も交通教室、学級指導や一斉下校等において繰り返し指導していく。

こども王国保安官やPTAと連携しながら指導を継続していく。

4 児童への指導

学習訓練については、校内研究でも重要な課題として捉えている。日々の授業の中で繰り返し指導しながら、研究授業等で相互評価し、改善を図っていく。

子どもたちのマナーの向上については、学校で重点項目を定め、取り組んでいる。また、定期的に家庭の協力もお願いしながら、連携して取り組んでいる。

子どもたちの失敗を生かし、やる気を引き出すために、授業をとおして子どもたちの自尊感情を高めていくことが大切。校内研究等で授業改善に努めていく。

子どもの言葉づかいについては、職員も課題として認識している。まず、職員自らが日常会話の中で適切な言葉づかいを心がけていく。また、授業での言語活動の充実が指摘されている。授業を展開する中で言語環境を整えていく。

家庭学習の習慣化のために、第一段として、学年末・始休業中の家庭学習課題において、学校としての方針を明らかにし、家庭の協力を得ながら取り組んでいく。

5 家庭教育力

地域や関係機関との連携、また、特にPTAと連携し、家庭教育の充実方策を検討していく。現在の試行：ノーテレビ・ノーゲームデーの取組、家庭学習の実践

6 その他

携帯電話については、保護者の啓発に努めるとともに、子どもに対しては、情報教育、道徳教育、人権教育などをとおして総合的に、指導していく。

地域コーディネーターと連携を密にししながら、スクールボランティアの活用を図っていく。